

令和7年度 ひまわりの家 地域連携推進会議 議事録

開催日時 令和8年 2月28日(土) 10時～12時

書記 榎原

開催場所 ひまわりの家 それいゆ

参加者 利用者： 2名
 利用者家族： 1名
 地域関係者：民生委員1名
 福祉知見のある方：半田市障がい者相談支援センター職員1名
 ひまわりの家職員 森下清子（管理者） 榎原雅美（世話人）

【会議内容】

1 自己紹介：各自自己紹介を行った

2 地域連携会議についての役割や目的について説明。

利用者と地域との関係づくり

地域の人への施設などや利用者に関する理解の促進

サービスの透明性、質の確保

利用者の権利擁護

3 施設について説明する

ひまわりの家は3棟あります。（それいゆ、ひらそる、ひまわり）

入居者の障がい区分：区分5の方1名、区分4の方3名、区分3の方13名、区分2の方3名

(1) それいゆ：平成23年2月1日半田市大矢知にて開所

平成30年8月1日に半田市岩滑中町に引っ越す。

男性3名女性2名の5名 33歳～63歳 障がい区分3～4（知的、精神）

(2) ひらそる：平成25年4月1日半田市花園町の3階建アパート1階部分を改造した住宅

男性1名女性5名 32歳～70歳 障がい区分2～4（知的、身体、精神）

(3) ひまわり 平成29年3月1日 半田市岩滑中町に開所

男性5名 女性4名 26歳～65歳 障がい区分2～5（知的、身体、精神）

4 事業所概要の説明【資料に基づき管理者より】

(1) 事業所計画について

(2) 事業所状況について

5 事業所の取り組みについて

職員について… 利用者様に寄り添い、どのような支援で、できることが増やせるかを、

自ら考え、共有していく。

事業所内研修、外部研修に参加しスキルアップに努める。

6 『わが事業所の自慢』動画視聴する。

利用者様のホームでの普段の様子を観ていただきました。

7 グループホーム満足度調査のアンケート集計の結果報告しました。

8 経営状況について

食費、電気代（よく使う月）は赤字になっています。食費に関しては現状のまま

値上げはせず土曜の夕食ショックブン利用していますが平日の食材より高価なため平日同様に

9 ヒヤリハットについて

夜間に世話人のすきを見て、冷蔵庫の中物を食べてしまうことがある。

対策として、目線に入るところに食べ物を置かないようにしたり、目隠しをする。

【会議での質疑・意見交換・情報共有】

各参加者の質問に管理者がお答えしました。

質問： 『福祉の方』：日中と夜間の職員配置はどうなっていますか？

回答⇒ 日中は各棟1名、夜間は半田口1名、花園1名です。

土日については、日中も半田口、花園各1名です。

質問： 『利用者家族』：土日、自宅に帰らない方もいるんですか？

70歳以上になると入居はできますか？

回答⇒ 半数以上帰らない方がいます。理由として家族が高齢化等

65歳までに入居されていれば継続できます。介護保険の認定を受けていても
ホームで自立出来ている間は可能です。

質問： 『地域の方』：長く住んでいても施設の事を知らない方がたくさんいると思うので
地域の方たちに知ってもらった方が良くと思いますが、広めても良いですか？

回答⇒ 駅も近い為、ごみを捨てていく人もいます。

大々的には困るが地域の方には知ってもらい、地域の行事に参加していきたいです。
利用者より→たばこの吸い殻を捨てていく人もいたので心配

質問： 『福祉の方』：避難訓練はどれぐらい行っていますか？また津波はどうですか？

回答⇒ ホームで年3回と地域の防災訓練に2回参加しています。

入浴中の地震の訓練も行いましたが、動じずいつも通り入って出てきませんでした。
避難所生活になった場合は、障害の特性に配慮して教室を別に設けてくださる事も
検討して下さるとの話もありました。

質問： 『管理者』：ホームでの食事はどうですか？

利用者 A 「美味しい」

利用者B「ボリュームミーで美味しいです。日中の職員さんが羨ましいと言っていました」

10 事業所見学 ひらそる、それいゆ、ひまわり見学する.

会議に参加してみて

『福祉の方』：施設の現状が分かって、とても良かったです。今年から義務化になり運営の透明化を目指しましょうというところでの参加でありがたいです。

今後事前練習のお泊まりに利用したいので空きが出ましたらご連絡いただきたいです。

『地域の方』： 民生委員の研修に是非こちらを使わせていただきたいと思いました。

学生のボランティアにも声かけてみようと思います。

『利用者家族』：ホームで他の方に迷惑をかけていないかが心配でした。